

これからの総社市は 全国屈指の福祉文化先駆都市を目指しましょう

第2次総社市総合計画は、今後10年間のまちづくりの指針となるものです。市民や各種団体との意見交換会、総合計画審議会での審議、市民アンケート、パブリックコメントを経て、昨年11月の定例会で議決されました。市民として誇りと責任をもち、目指す都市像、5つの基本目標、3つの基本理念をみんなで共有し、明るく豊かなまちづくりに取り組んでいきましょう。

問い合わせ 政策調整課 (☎08213)

第2次総社市総合計画を策定しました

※「第2次総社市総合計画」をまとめた概要版を、『広報そうじゃ』4月号と併せて配布します。

目指す都市像

5つの基本目標

住み

働き

だれもが

学び

訪れ

集い

たくなる総社

岡山・倉敷に 並ぶ新都心 総社

～全国屈指の福祉文化先駆都市～

総社流施策で福祉文化を全国トップレベルにして、岡山・倉敷を“質”で超える新しい総社を創る！

3つの基本理念

- ・困っている仲間を支援しよう！
- ・子どもと仲間を増やそう！
- ・仲間と力を合わせよう！

土地活用の基本方針

東部

来訪者を迎え、新しい吉備文化を発信していく交流地域

南部

活力とにぎわい、やすらぎを生み出していく地域

西部

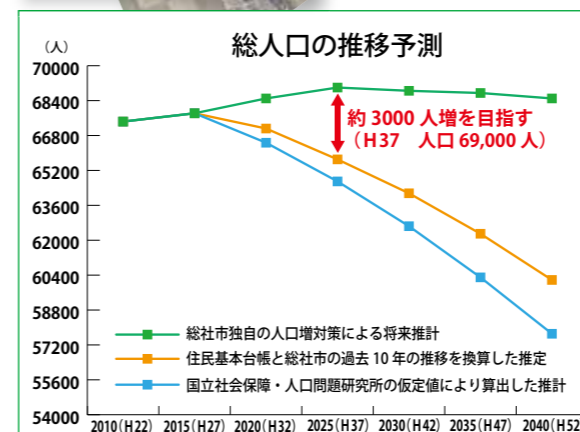
農業と工業地、住宅地が連携、調和し、定住を実現する地域

北部

自然と共生する豊かなコミュニティが維持される地域



人口ビジョン



目指す人口展望

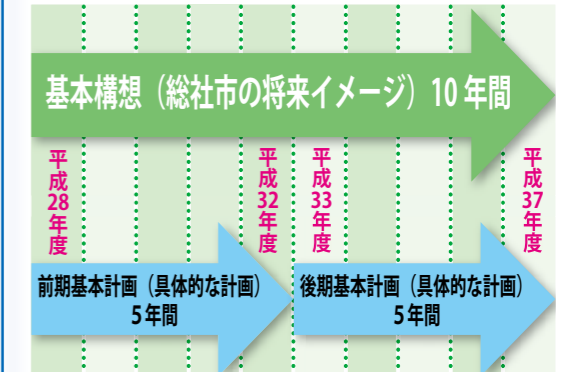
69,000人

総社流の施策で人口増加を目指す!

10年後に推移予測される人口

65,706人

なに? 総社市総合計画って



総合計画は、今後10年間の総社市をどのように創っていくのか、その方向性を描いたまちづくりの指針となるものです。この計画は、どのようなまちを目指すかを示した基本構想(まちの将来イメージ)と、実現するために、何に取り組んでいくかを表した基本計画(具体的な計画)で組み立てられています。

全国的に人口減少の抑制が課題となっているなか、市では平成23年から平成27年まで、人口が増加しています。その要因は総社市の地理的環境と実施してきた独自施策の効果と考えています。

しかし、今後は人口減少にも目を向け、新たに効率的な施策に取り組んでいく必要があります。さまざまな分野で総社流施策を展開し、人口増加を目指しましょう。